

精神面の負担の原因の特徴（第3章74頁関係）

悩みや不安、心配ごとなどの精神面の負担が「ある」又は「どちらかといえばある」と回答された人の原因を属性項目別に整理すると、下表のとおりです。

例えば、年齢別では、40歳代までは「仕事や勉強」「職場での人間関係」「子どもの教育」などの比率が高くなっていますが、50歳代では「高齢者等介護」の比率が高くなり、60歳代以上では「自分の健康状態」「家族の健康状態」が高くなっているなど、ライフステージに対応して、精神的な負担の原因が移り変わっている傾向が見られます。

図表 属性別の精神面の負担の原因

属性		相対的に比率が高い原因	相対的に比率が低い原因
地域	北勢	子どもの教育、子どもの将来	
	伊賀	通勤等移動	
	中南勢		職場等人間関係
	伊勢志摩	収入	育児
	東紀州	自分の健康	仕事、家族関係、近所づきあい、通勤等移動
性別	男性	仕事	家族関係、育児、子どもの教育
	女性	家族関係、育児、子どもの教育	仕事
年齢	20歳代	仕事、職場等人間関係、育児、通勤等移動	自分の健康、家族の健康、介護、子どもの将来
	30歳代	収入、仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育	自分の健康、家族の健康、介護
	40歳代	収入、仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育、子どもの将来	自分の健康、家族の健康
	50歳代	介護、子どもの将来	育児、子どもの教育、通勤等移動
	60歳代	自分の健康、家族の健康	仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育、通勤等移動
	70歳以上	自分の健康、家族の健康	収入、仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育、子どもの将来
主な職業	農林水産業	家族の健康、介護	仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育、通勤等移動
	自営・自由業		職場等人間関係、近所づきあい
	正規職員	仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育、子どもの将来	家族関係、自分の健康、家族の健康、親せきづきあい
	パート・バイト・派遣など	収入、職場等人間関係、家族関係、子どもの教育、子どもの将来	自分の健康
	その他職業	収入、職場等人間関係	介護、育児、子どもの将来、近所づきあい
	学生	仕事、職場等人間関係、通勤等移動	収入、自分の健康、家族の健康、介護、子どもの将来
	専業主婦・主夫	家族の健康、介護、育児、子どもの教育、子どもの将来、親せきづきあい、近所づきあい	収入、仕事、職場等人間関係
	無職	自分の健康、家族の健康	収入、仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育、子どもの将来

属性		相対的に比率が高い原因	相対的に比率が低い原因
配偶関係	未婚	仕事、職場等人間関係、通勤等移動	自分の健康、家族の健康、介護、育児、子どもの教育、子どもの将来、親せきづきあい
	有配偶	家族の健康、介護、育児、子どもの教育、子どもの将来	仕事、職場等人間関係
	離別・死別	収入、家族関係、自分の健康	仕事、職場等人間関係、家族の健康、介護、育児、子どもの教育、子どもの将来
世帯類型	単独世帯	自分の健康	仕事、職場等人間関係、家族の健康、介護、育児、子どもの教育、子どもの将来
	一世代世帯	自分の健康、家族の健康	収入、仕事、職場等人間関係、家族関係、育児、子どもの教育、子どもの将来
	二世帯世帯	仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育、子どもの将来	自分の健康、介護
	三世帯世帯	仕事、家族関係、介護、子どもの将来	
	その他世帯	収入、家族関係、介護、通勤等移動	
本人の年間収入	～100万円未満	自分の健康、家族の健康、育児、子どもの教育、近所づきあい、通勤等移動	仕事、職場等人間関係
	～200万円未満	収入、自分の健康	仕事、職場等人間関係、育児、子どもの教育、子どもの将来
	～300万円未満	職場等人間関係	育児、子どもの教育、子どもの将来、通勤等移動
	～400万円未満	仕事、職場等人間関係	自分の健康、介護、親せきづきあい
	～500万円未満	仕事、職場等人間関係	家族関係
	～600万円未満	仕事、育児、子どもの将来	
	～800万円未満	仕事、職場等人間関係、子どもの教育、子どもの将来	収入、自分の健康、家族の健康
	～1,000万円未満	介護、子どもの将来	収入
1,000万円以上	子どもの将来	収入、育児、近所づきあい、通勤等移動	

- (備考) 1 「相対的に比率が高い」「相対的に比率が低い」とは、県全体の比率と該当項目の比率を比較して、その差が統計的に有意である項目（危険率5%未満）です。
- 2 属性及び原因については、省略して記述しています。
- 3 詳細なデータは、別冊のデータ集189・190を参照。